



陳情書

(件名：スケートボードパーク設置に関する陳情書)

令和7年4月22日

長崎市議会議長 様

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、近年のスケートボード人気の高まりに伴い、若者を中心としたスケートボード人口は全国的に増加の一途をたどっております。長崎市においても例外ではなく、限られた空間の中でスケートボードに興じる若者の姿が見受けられますが、現状ではこれに対応する公共のスケートボード専用施設が存在しないため、様々な問題が顕在化しております。

まず、長崎市内には平地が少ないという地理的制約もあり、スケートボードを楽しむ若者の多くが、水辺の森公園や湊公園といった公共の場を使用せざるを得ない状況にあります。これらの場所ではスケートボードの使用が原則として禁止されており、取り締まりの対象ともなり得るだけでなく、市内に数多く存在する歴史的建造物や観光名所を毀損するおそれも指摘されております。

加えて、観光客の目にこのような状況がどう映るかという点も重要です。観光産業は長崎市の大きな財源であり、訪れる人々の印象は市の経済にも直結する要素であると考えます。その意味でも、現状のままでは市政にとって好ましい状態とは言えません。

しかしながら、スケートボードは、東京オリンピックにおいて日本人選手が次々とメダルを獲得しているように、欧米諸国との体格差を超えてこれからも世界で戦える可能性を秘めたスポーツです。将来のオリンピックを育てるという視点からも、この競技を一律に禁止するのではなく、安全かつ健全に楽しめる環境を整えることが、長崎市にとっても有意義であると考えます。

つきましては、以下の点についてご検討を賜りたく、ここに陳情申し上げます。

【陳情内容】

長崎市内にスケートボード専用のスケートボードパークを設置してください。

【設置場所の提案】

現在、再活用が議論されている「県庁跡地」の一部を、スケートボードパークとして活用することをご検討いただけないでしょうか。中心市街地に位置する同地は、交通アクセスもよく、若者にとっても通いやすい場所であり、また開放感のある立地は安全性の面からも適しています。県有地であることから、県と市の連携・協議の必要がございますが、地域活性化という観点からも前向きな検討が期待されるところです。

【施設の運営について（ヒアリング結果に基づく）】

先日、実際にスケートボードに親しむ若者たちへのヒアリングを実施したところ、パークタイプよりもストリートタイプのスケートボード施設を希望する声が少なからずありました。また、利用料金については、1時間あたり500円程度であれば学生でも無理なく利用できるという意見を得ました。

これらの意見を踏まえ、以下の点を考慮した施設の運営を提案いたします。

- ・施設タイプ: ストリートタイプのスケートボードパーク
- ・利用料金: 1時間あたり500円（学生割引等の検討）
- ・安全対策: 定期的な点検・メンテナンスの実施、ヘルメット等の保護具着用義務付け

地域の若者が健全にスポーツに打ち込み、将来の目標を見出せる環境づくりは、地域全体の活力の向上にもつながります。行政と市民とが協力し合い、持続可能なスケートボード文化の基盤を築いていくことを心より願っております。

何卒、本件についてご理解とご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

長崎市中新町16-15

岩井 杏介

携帯: [REDACTED]

メール: [REDACTED]